

## 第2回幼児体験学習の報告

第2回目の幼児体験学習には、外部から5名の幼児、6名の保護者の参加があった。幼稚部の授業参観では、幼稚部在籍児のクラスでの活動を見てもらった。保護者は、各教室を回りながら熱心に参観されていた。合同保育は、自己紹介ゲーム、おもちゃ作り、宝探しを行った。自己紹介ゲームでは、自分の名前と好きなキャラクターを発表した。子どもたちは自分の好きなキャラクターを選ぶのを楽しんでいた。

おもちゃ作りでは、参加幼児の年齢差を考慮して、2、3歳児のグループと5歳児のグループに分かれて行った。2、3歳児のグループは、うちわにキャラクターの紙、はんこ、シールなど好きなものを選んで飾り、出来上がったうちわで風船を突いて遊んだ。子どもたちは、保護者と一緒にテーブルを囲んで思い思いのうちわを楽しく作ることができた。5歳児のグループは、すいすいロケットとストロー飛ばしを作るグループに分かれた。すいすいロケットでは、ロケットや動物など自分たちが作りたい物を考え、保護者と一緒に熱心に作っていた。作った後は、ひもを高いところにかけて、登らせたり、友達と競争したりして楽しんだ。ストロー飛ばしでは、ペットボトルに穴を開けて、輪ゴムでストローを飛ばす仕掛けを作った。保護者に手伝ってもらいながら作り、的にばいきんまん、こうもりなど倒したいものを書いたりして、時間いっぱい工作を楽しんだ。今回は、年齢別のグループに分けたことで、子どもの実態に合わせた内容で、同年代の子どもとのかかわりをするのができ、保護者も子どもとゆったりとかかわることができたように思う。

宝探しでは、2、3歳のグループはお菓子の袋にひもを付けたものをタオルケットで隠し、ひもを引っぱった。お菓子が出てくると皆うれしそうだった。5歳児は部屋の中に隠されているボールを見つけて、お菓子と交換してもらった。なかなか見つけられない幼児もあきらめることなく探し、見つけることができた。

午後からは、個別の教育相談を行い、保護者の思いを聞き、相談に応じた。

参加幼児の年齢の幅が大きかったが、年齢別のグループに分かれての活動を取り入れることによって、年齢に応じた楽しみ方ができたと思う。

幼児体験学習を通して、幼稚部の教育について知ってもらうことができた。これからも聾学校の専門性を生かして、子どもたちが楽しく体験活動ができる場を設定し、保護者に聾学校についての理解を深めてもらえるように努めたい。





## 保護者学習会



9月28日(火)に小学部の河村先生より「就学について」というテーマで話をしてもらいました。就学基準、就学に関する相談の流れ等についての説明の後、就学に向けて保護者に大切にしていきたいことを話してもらいました。

(就学先を考えるにあたって)

○コミュニケーション(言語活動)が、量・質ともに保障される学習環境が大切です。集団の大きさだけでなく、関係の質も見極めていきましょう。

○小学校(部)で適応していくためには、今いる生活場所(家庭、幼稚園(部))で適応できていることが大切となります。適応とは、人が好きでかかわりが多いか、自分の役割があり認められているか、必要とされ期待されているかということです。

○どこでどのように学びたいか、お子さんの思いを聞き、十分相談してください。

○在籍園(校)の担任及び特別支援コーディネーター、市町教育委員会と十分に相談してください。

(就学に向けて)

○お子さんの聞こえにくさについて他者にうまく説明ができ、学習活動を行う上でどのような配慮が必要となるか保護者の立場で考えをまとめておくことも重要です。

○「読む」「聞く」「書く」「話す」など日本語の力や教科学習の基礎・基本の力を身に付けていく学習方法について考えていきましょう。

(就学後)

○就学相談については、入学したら終わりではありません。お子さんの学習活動の様子や他者とのコミュニケーションの状況をしつかりと見続けてください。

○小学校(部)に入学してからも子どもの一番の支援者としての心構えを持ち続けてください。

## 聴覚障害福祉機器展示

10月17日(日)の本校文化祭の時に、聴覚障害福祉機器展示をしました。『補聴器のトーション』に御協力いただいて行っており、今年度で3年目になります。聞こえの不自由さを軽減してくれる日常生活の道具を実際に触れたり、体験したりしていただきました。また、使い方の説明や相談にも応じており、年々参観者が増えています。今回は、FM補聴システムの視聴も行いました。



聴覚障害者用屋内信号装置



FM補聴受信機 J5



FM補聴受信機 J2

リオン社製

## イベント紹介

### ほほえみフェスタ～みんなの笑顔に出会いたい！～

期日：平成 22 年 10 月 24 日（日）10:00～14:30〈雨天決行〉

場所：身体障害者福祉センター・道後友輪荘

（松山市道後町 2 丁目 12 番 11 号）

主催：愛媛県社会福祉事業団

○愛媛が生んだ漫画家「樫本学ヴ先生」がやってくる！（要予約）

○子どもの免許証をもらって本物の白バイ・パトカーに乗ろう！

○ウェルキャブ（福祉車両）に乗ってみよう！

○とべから動物達がやってきた！

○盲導犬ネーラと友達になろう！

○その他

野外ライブ、バラエティショー、施設生産品販売、フリーマーケット、屋台・軽食、きねつきもち実演販売、もちまき、採れたて新鮮！特売コーナー

### ファミリー手話コンサート in えひめ『夢－勇気－元気－笑顔－優しさ』

期日：平成 22 年 10 月 31 日（日）13:00（開場 12:30）

場所：松山市総合福祉センター（松山市若草町 8-2） 1F 大会議室

主催：愛媛県難聴児を持つ親の会

愛媛県に「歌う海賊団」がやって来ます。「歌う海賊団」は全国の幼稚園・障害者施設・企業などで「子育て応援」をテーマにファミリーコンサートを開催しています。また、「リブレットダンス」（手話ダンス）を用いたオリジナル手話ソングは、NHKでも紹介されました。聴覚障害の方も含め、みんなが楽しめる参加型のバリアフリーコンサートです。

※ 観覧料が 500 円になりました。

#### 【予約方法】

下記のメールアドレスに、所属、名前、枚数、金額を明記の上、パソコン又は携帯からメールをお願いします。

(htnoka@shirt.ocn.ne.jp)

#### 【申し込み期間】

※ 前日まで受け付け可能になりました。

